

東日本大震災 と 子どもたち

震災当時の学校や家庭での子どもたちの様子をお聞きして
避難生活が子どもたちに与えた影響や、子どもたちが抱えたストレスについて学び考えます。

平成 31 年 2 月 23 日(土) 13:30~15:45

会場：千葉県教育会館 604 室
(住所:千葉市中央区中央 4-13-10)

定員：60 名(申込順)
対象：子どもに寄り添う大人のみなさん
参加費：無料

当日スケジュール
13:30 開始 挨拶
13:35~14:25 講演① 門馬さん
14:30~15:20 講演② 三浦さん
15:20~15:40 全体質問・情報共有・まとめ
15:45 終了(希望者は講師と交流いただけます)



講演者:門馬正純さん
元南相馬市立鹿島小学校校長
震災から 1 年後、定年退職とともに
流山市に避難。震災で体験した
ことを広く伝える活動をしている。
3.11 学校現場では何が起きてい
たのか?こどもたちの様子・困ったこと・配慮したこと・必要
を感じたこと等、体験を通して強く伝えたいことを話してい
ただきます。



講演者:三浦恵美里さん
福島県福島市生まれ、保育士、
ふくしま子ども支援センター事業長
震災後他県へ母子避難。現在、福
島市に帰還。
当時の子どもたちの様子、行動、親
の思いや子どもの心は? また、震災から 8 年経って今の
子どもたちの様子など、体験・事例を交えて話していただ
きます。

いけばな交流会 (つなげよう花の心実行委員会協力) & 個別相談会 (福島県職員対応)

平成 31 年 2 月 26 日(火) ※福島県からの避難者対象
会場：千葉市生涯学習センター 3 階 (千葉市中央区弁天 3 丁目 7-7)
個別相談会 研修室 2 開催時間:11:00~16:00
いけばな交流会 研修室 3 開催時間:13:00~16:00
※どちらも無料、事前申込みです。申込み締切：2 月 15 日
片方だけの申し込みもできます。お花は、お持ち帰りできます。



『第 3 回 LOVE! 福島!!』 「忘れない」をつたえる

平成 31 年 3 月 10 日(日) 10:00~15:00 ※会場内に避難者相談コーナーあります
内容:報道写真パネル展示「福島記録」、福島県産品販売、手作り体験(ポーセラーツ、ハーバリウム)
10:30~吹奏楽&ダンスパフォーマンス
11:30~講演会「浪江まち物語つたえ隊」による講演と紙芝居
12:30~キビサボ隊がやってくる!(キビタン、チーバ君、ちはなちゃん)
13:30~イダ・セイコライブ&チャリーディング

試食販売もあります
(浪江焼きそば・おやき・
ソーセージ)

「忘れない東日本大震災—あれから 8 年」そごう千葉店にて 写真展示

展示期間:平成 31 年 3 月 5 日(火)~11 日(月)
展示場所:そごう千葉店 地下フォトギャラリー(本館とジュンヌ館の連絡通路内)
展示内容:福島県内の震災当時の写真、復興のあゆみデータ、千葉県内の支援団体活動状況など

このページの間合せ・申込みは、
福島県県外避難者相談センター 電話 080-5418-7286
認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 電話 043-303-1688

東北と千葉の出逢いが広がりますよう

エンジョイ
縁 joy
Vol.59 H31.2.1



発行:認定特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
連絡先:〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12
☎043-303-1688
E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
発行部数:2,500 部
福島県から千葉県へ避難されている方の数:2,260 名
(H30, 12/11 現在)



松戸駅デッキで防災クイズを実施中



黄色いハンカチの移転オープニングセレモニーにて

ここ
わたし千葉で元気にしています!

南相馬市 門馬正純さん (千葉県流山市)

3.11 の時、南相馬市立鹿島小学校で校長を務めておりました。
鹿島小学校の北側と南側は、水田で土地が低いため、津波に襲われてしま
いましたが、東の海側は、児童送迎用の道路があり、水田より少し高くな
っていたお蔭で、学校は津波から免れることができました。鹿島小学校は
津波に襲われなかったものの、電気・水道が止まり、避難所として機能で
きず、避難してきた人は、鹿島中学校へ再度移動せざるを得ませんでした。

4.22 の学校再開は、鹿島小に小中学校 5 校が同居してのスタートでした。
①どの学校も学年別 2 学級合同で、窓のある校庭側は放射能が高いので、
特定の子どもに被爆が集中しないように、縦の列ごと毎週移動しての授業
②外で遊べない ③水筒持参 ④トイレは、仮設 ⑤給食は、おにぎりとな
牛乳、チーズ程度のもので再開。
外で遊べるようになったのは、翌年の 3 学期になってからでした。

学んだことは、電気が使えないときの情報源として頼りになるのは、乾電池式の携帯ラジオ。学校は災害時
には避難所になることを想定して、普段から備品の点検、使い方の確認をして、行政・学校・地域の人々が連
携してシミュレーションをしておく必要があると思いました。今までの避難所開設は、行政と学校が行い、住
民はそこに避難してくる形でしたが、これからは、行政・学校・地域の人々が一緒になって役割分担を確認し、
連携しながら避難所開設・運営をしていく形が良いと思います。松戸市のある小学校では、市役所・学校・町
内会が一緒になっての避難所開設・運営の訓練が始まりました。

3.11 を風化させないために、体験したこと、学んだことを後世に伝えていくことの大切さを感じています。

◆ 門馬さんの講演会を開催 平成 31 年 2 月 23 日(土)13:30~3:45 千葉県教育会館にて 詳細は、裏面



「黄色いハンカチは、居心地がよく
て、落ち着きます」

情報紙「縁 joy」は、福島県県外避難者帰還・生活再建支援事業として
東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆様の不安や悲しみが少しでも軽減されるよう
そして、被災者に対しての理解が広まることを願って作成・発行しています。